

別記
第3号様式

京都府教育委員会教育長 様

令和 6年 3月 8日

コミュニティ名 「特別の教科 道徳」の授業作り（特別支援学校）推進チーム
代表者所属名 京都府立井手やまぶき支援学校
代表者職・氏名 教諭 戸倉 大希

京都府若手教職員学び合いのコミュニティ育成支援事業報告書

次のとおり報告します。

1 コミュニティ名

「特別の教科 道徳」の授業作り（特別支援学校）推進チーム

2 研究テーマ

特別支援学校における「特別の教科 道徳」の授業作り
～「特別の教科 道徳」授業及び評価の検討～

3 研究の目的

授業研究や特別支援学校の「特別の教科 道徳」の授業実践例の作成を通し、府立特別支援学校や地域の特別支援学級における「特別の教科 道徳」の授業作りを推進することを目的とする。

4 研究の成果と課題

【成果】

- ・昨年度からの学びを継続し、引き続き「特別の教科 道徳」の授業作りの基本について学ぶことができた。
- ・昨年度の反省を活かして、成果物として授業実践案を作成することができた。
- ・井手やまぶき支援学校でお世話になっている大学の教授とのコラボ研究会も実施でき、新たな視点からの学びにつながった。

【課題】

- ・昨年度に成果として挙げていた実際の授業を見る機会を設定することができなかった。
- ・当初思い描いていた、teamsを活用しての日頃の実践交流をすることができなかった。
- ・評価に関しての学びを深めることができなかった。

5 研究成果の波及方法

- ・京都府教育委員会が企画する当該事業の報告会での発表やホームページへの掲載を通して、府内全域に研究成果を波及する。
- ・校内のサーバーに作成した授業実践案入れ誰もがみれるようにすることで、研究成果を波及する。

6 研究（活動）実績

| 年月日 | 研究（活動）内容（具体的に記入） | 活動場所 |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------|------------------|
| 令和5年 7月5日 | 研究会1 ・コミュニティ発足の顔合わせ ・研究の趣旨確認 ・今後の研究活動等 ・各校の道德教育の現状についての交流 | オンライン (teams) |
| 令和5年 11月6日 | 研究会2 ・授業実践案についての交流 ・絵本リストの紹介 ・大学教授への質疑応答 | 井手やまぶき支 援学校 |
| 令和6年 1月25日 | 研究会3 ・授業実践案についての交流 ・まとめ発表資料についての交流 ・3年間にわたるコミュニティについての感想発表 | オンライン (teams) |